

水戸市民憲章

- わたくしたちは
いつも若く あすをめざす
伝統ゆかしい 梅の都
水戸の市民です
- 1.自然を愛し 美しいまちにしましょう
 - 1.教養を深め 文化の高いまちにしましょう
 - 1.仕事にはげみ 豊かなまちにしましょう
 - 1.きまりを守り 住みよいまちにしましょう
 - 1.心を合わせ 楽しいまちにしましょう



No.52 発行

住みよい浜田をつくる会
広報部

水戸市柳町2-5-8
TEL 231-2045



常陸第三宮吉田神社 秋季例大祭～山車の周りには、多く人が集まりました～

新春のあいさつ



住みよい浜田をつくる会
会長 品川 雅夫

新年あけましておめでとうござい
ます。本年もどうぞよろしくお願
い
致します。

日頃は何かと「住みよい浜田をつくる会」に、絶大なご支援・ご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。厚く御礼申し上げます。さて、今年度は5月にコロナが五類に移行され、多くの行事が行動制限無く実施できる事となり、たくさんの人との交流ができた年でありました。また、経済面では、ガソリンを含む燃料費・食品等、直接生活に影響する物価高騰に悩まされた年でもありました。そういう中で前半は、書面で実施していた総会が、対面形式となり、続いて三つの行事を実施致しました。中盤に入り、市民運動会をはじめ六つの行事を実施致しました。後半には、合同新年会をはじめ六つの行事を実施致しました。ご協力ありがとうございました。最後に、今後についても皆さん方が喜んで頂ける行事の推進を、実施していきたいと思っております。今後とも、皆様方のご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

令和五年度

水戸市民の集い表彰者

永年勤続町内会長ほう賞者

勤続十五年

庄司 良子 (浜田町二丁目一班)

勤続十年

由田 展也 (朝日町仲通り)

市村 國夫 (瓦谷町)

岡田 貴一 (本四丁目)

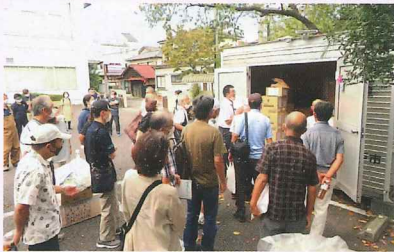
椎名 秀夫 (東台区)



各部の活動から

総務部

防災研修会



9月30日、講師に水戸市消防局危機管理の鬼澤さんを招き実施しました。いつ起こるか分からない災害に備えた準備、仮設テントやトイレの設営、非常食の調理など詳しい説明がありました。
田村記

合同新年会



1月13日、参加者47名。余興はなかったが各テーブルごとに会話が弾み、楽しい一時を過ごすことができました。

また、今年は高橋市長さんが精力的に会話の中に入り、各テーブルを回り地域の情報交換をし、和やかな雰囲気です充実した時間であった。

今まで来賓の方々と一緒に話す機会がなかったが、今回は親しくご挨拶ができて嬉しかった。
池田記

芸能発表会



2月18日、観客55名・係員26名・計81名。参加者の人数が危ぶまれたが、たくさん集まり盛況でした。コロナ禍による空白をかき消すように歌やコーラス、フラダンスに舞踊、太極拳にはつらつ体操。会場は春が来たような雰囲気です、まったりとした時が流れた一時でした。
池田記

生涯学習部

作品展



11月18, 19日。閲覧者は、約400名。着付け、絵手紙、書道の各クラブ、個人作品展示。学校からは浜田小・水戸三中、幼稚園から出展されました。女性防火クラブからは、非常食等の紹介がありました。
仁平記

スポーツ・レクレーション部 浜田地区市民運動会



花壇コンクール表彰者



10月8日、秋晴れの下、多くの参加者は笑顔に包まれ個人・団体競技に汗を流し、拍手や声援が絶え間なく続き、満足いく運動会になりました。 柏崎記

ミニ・スポーツ 体験会&昔あそび



2月11日、参加者約50名。簡易ポチャ、インディアカ的入れ、輪投げミニスポーツ、紙飛行機飛ばし、だるまさん転んだ等々。いざやってみると、輪投げは一投しか入らず、紙飛行機はまっすぐに飛ばなかったのですが、楽しく体験をすることができました。 田村記

浜田地区歩く会



11月5日、今年では従来のコースではなく、新設の「大手門コース」を65名の参加で季節の移り変わりを感じながら元気に「浜田地区歩く会」が実施されました。水戸城跡二の丸展示館で水戸の歴史に触れる一幕も… 仁平記

桜川クリーン作戦

生活環境部 エコミット視察研修

2月3日、冬晴れの下、約70名の参加者で実施されました。桜川土手の上流・下流の2班に分かれトング・軍手が配付され、午前中90分程度、可燃物と不燃物に分別して回収。参加者全員爽やかな気持ちで解散しました。お疲れさまでした。 柏崎記



10月27日、参加者は27名。広大な敷地の中にリサイクルセンター、ゴミ焼却施設と管理啓発棟があり、管理棟から施設全体を管理しています。焼却熱を利用し発電所の機能も備えてる等の説明を聞く事ができ、大変勉強になりました。 池田記

広報部

「FMぱるるん」 生放送



十二月五日、品川会長、生涯学習部長の小堤さん、スポレク部員の小川さん、備前堀灯ろう流し実行委員長の小松さん、広報部からは、仁平さんと池田さんが、FM放送を通して活動内容や課題を伝えることができました。鬼澤記



作品展に写真を展示しました

福利厚生部

郷土かるた



2月10日、浜田小で低学年・高学年の部が、それぞれ1チーム3名の計11チームで行われました。

浜田地区大会で勝ち抜いたチームは中央地区大会へ進みます。皆寒い中でも真剣に楽しみながら対戦しました。昭和54年に水戸市政90周年を記念して作られた「水戸郷土かるた」で、子ども達は、遊びながら水戸市の伝統や歴史を学べ有意義な一日でした。

※中央地区大会に出場した低学年代表が準優勝に輝きました。根本記

子育て広場

地域との連携から



12月18日、11組の親子が参加。歌や読み聞かせ、寸劇ありのクリスマス会。最後にサンタさんからプレゼント。楽しい雰囲気の中で、瞳を輝かせていた小さな子ども達の笑顔が印象的でした。池田記

竹馬学級



八月十八日、「笑いが一番」をテーマに水戸大神楽十八代家元 柳貴家正楽師匠を招き人権啓発講演会がありました。
「笑いは人の心を豊かにします」
仁平記



コロナ禍で閉ざされていたCommunityの輪が少しずつ広がりをみせる中で、皆様のご理解とご協力を頂きながら各部の催しが実施できた一年でした。まだ油断はできませんが、予防処置を講じた上で皆様の笑顔の輪が更に広がる事を念じ、私たちも前に進んでいきたいと思えます。関係各位の皆様、ご協力頂き有り難うございました。仁平記



編集後記

「浜田小学校」と「城東小学校」の校歌はなぜ同じなの？
浜田小学校は昨年十二月百五十周年を迎え、式典を行いました。現在の校歌は創立五十周年の折にできました。大正十四年(1925)に、校舎が狭くなり、浜田の地に新しい校舎をつくり、四年生以上を移し、三年生以下は横竹限の地に残しました。やがて横竹限の校舎も手狭になり、城東の地に新しい校舎を造りました。そのため、浜田、城東の両校の関係は、どちらが分かれたという兄弟姉妹という関係ではなく、いわば双子校の関係になります。そのため、両校の校歌はまったく同じものになっています。
【浜田地区めぐり】から引用
仁平記

知って納得豆知識